

平成30年度 第1回学校評議員会【記録】

日時:平成30年7月4日(水)13:30-15:00 場所:応接室

参加者(校長・教頭・事務長・各学部主事・寮務主任・評議員)

1 校内視察(寄宿舎→高等部作業棟など)25分程度

2 学校の概要説明

(1)はじめのあいさつ

(2)学校評議員委嘱状交付

①岸本安司(宇茂佐区区长)

②玉城須賀子(わかば園施設長)

③竹沢昌子(琉球リハビリテーション学院) ④座間味美智枝(おとばの杜事務局長)

(3)委員紹介

(4)学校経営方針等について(P1、2)

- ・ 幼児児童生徒の実態把握、教育的ニーズの把握
- ・ キャリア教育の視点(教育課程について)・・・ライフキャリアの育成が基礎
- ・ 共生社会の実現に向けた交流学习の推進
- ・ 5障害種に対応した教育課程、センター校としての役割
- ・ 事務局(特体連、沖特進研)について
- ・ 職員の働き方改革、リフレッシュデイについて

(5)各学部の状況について

- 1 幼・小学部(P.3) 在籍状況、1学期の主な学部行事、学部の状況(幼児児童の健康、訪問学級、居住地校交流、緊急時の体制確認、保護者の懇談会)
- 2 中学部(P.4) 在籍状況、学部の状況(生徒の様子、1学期の主な学部行事、生徒の活動、学部の課題と対応)
- 3 高等部(P.5) 在籍状況、1学期の主な学部行事、課題とその対応策(生徒管理の体制、生徒指導の体制)、産業コースについて、ライフキャリアについて

寄宿舎の取り組みについて(P.6、7)

- 1 寄宿舎の目標、 2 入舎状況、 3 市町村別在舎児童生徒数、 4 職員
- 5 1学期の主な行事、 6 寄宿舎における課題と解決への取り組み

(6)評議員からの質問および指導助言

①竹沢さん Q.高等部『主権者教育』について、選挙年齢が18歳となったことを受けて設定したのか、どのような内容か?

石 垣 A.3年ほど前から外部講師の講話を設定し、障害児者が巻き込まれるであろう問題(契約や詐欺、宗教の勧誘等)についての学習を行っていた。その流れの中で選挙についても学習設定している。教本があり、わかりやすい内容で示されているので参考にしている。

②座間味さん（感想） 中学部の報告で「家庭環境を考慮した連携・・・」とあったが、社協でも実感している。交換日記のことを教えてほしい。

和多野 A.今回報告したケースは不登校気味の生徒と担任とのやりとりでうまくいった例。保護者に関しても書類のやりとりなど、教師が間に入ることで関係形成ができてきたことで生徒ともうまくいったと思われる。

③座間味さん Q.居住地校交流とは？

玉城 A.児童生徒の住む地域の校区の学校で交流すること。本来は地域で学ぶことが通例であることとインクルーシブを進めているので、実施している。

④玉城(須) Q.産業コースについて

校長 A.うるま市高特に入学できる生徒のレベルが対象で、北部地域在住の生徒が通学が可能になることを想定して本校に開設する。ビルメンテナンスや流通、接遇(カフェ)を主なコースの作業学習内容と考えている。

座間味 Q.コースの内容に、介護も入れるのはどうか？

校長 A.ニーズを実感している。が設備等で現在すぐには実現はできなさそうだ。

教頭 A.資格取得ではない方向で、ニーズを把握してやっていたらと思う。

産業コースは、普通科の中の「普通コース」「産業コース」になる。

玉城(須) Q.次年度2，3年生もコース入学の対象か？

校長 A.新入学生のみ。1年ごと1学年が10名(最大)ずつ増えていくことになる。

その他 ・スクールバスの運行路線図の確認

3. 連絡

第2回評議員会の日時。ランチルームにて給食の試食会がある旨を確認した。

(第2回目学校評議員会：平成30年12月18日；予定)

第3回評議員会については、周辺行事との兼ね合いと県への報告までの期間を考慮しながら決める。(平成31年2月5日；予定)